

ボラ協情報

平成 25 年 (2013) 3 月 31 日 (日) 第 73 号

Normalization をめざして — ボランティアによるボランティアのための情報誌 —

三浦市ボランティア連絡協議会

団体数 16 団体

(平成 25 年 3 月 31 日 現在)

編集・発行

三浦市ボランティア連絡協議会

連絡所 三浦市総合福祉センター

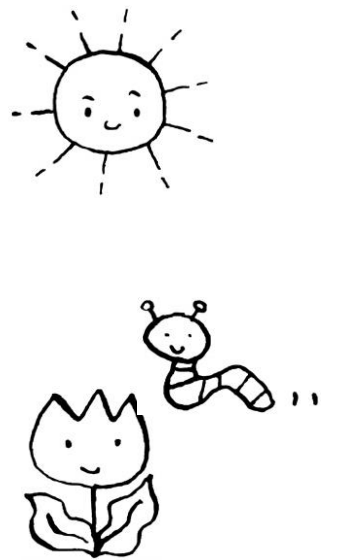
TEL 046-888-7347

平成25年1月26日(土)

総合福祉センター
多目的ホール

新年親睦会が盛大に開催されました

クイズに歌、美味しい会食… 今年も和やかに、新年親睦会が開催されました。



美味しいね

小春日和の一日、会員相互の連繋と親睦を目的に、平成 25 年 1 月 26 日 (土) 三浦市社会福祉センター多目的ホールにて、ご来賓いただいた 10 名様とボラ協会員 40 名の合計 50 名で、楽しく有意義な、一時を過ごしました。

はじめに、ボラ協高梨会長の挨拶、次にご来賓してお招きしました三浦市協働推進課、加藤りえ子部長、川崎社協会長、出口局長及び社協職員の方々に加え、ボラ協 20 周年誌発行にご尽力いただいた森田喜一様をご紹介申し上げ、会を進行いたしました。会場の全員で三浦市歌の斉唱、新年会に相応しくお正月の歌声、美しいハーモニーがホールに流れました。続いて 5 テーブルの皆様の出し物、歌あり、パフォーマンスあり、各班で話し合った演技は会場を一段と盛り上げました。

三浦・初声・みなみ手話サークルによる手話を交えた「ふるさと」「見上げてごらん夜の星を」で歌声に手の動きがついていかれないが、皆さん懸命に覚えようとしていました。班ごとのクイズに挑戦、苦戦を強いられた班、簡単に解いていた班、後の答え合わせで数段の差が出たようでした。三浦手話サークル、ともしび会の大井ヨシノさんの指導により、民謡踊りは会場をいっぱいを使い参加者全員の踊りの輪は見事でした。

後日、加藤部長さんをお訪ねし、ご参加のお礼を申し上げた際、「久しぶりのゲームでとっても楽しい一時でした」と反対にお礼を頂きました。

最後になりましたが、ドンマイの皆様によって頂いたお料理、とっても美味しかったです。担当して頂いた佐藤常務のお心遣い、本当に有難うございました。



やっぱり美味しいね



感謝状贈呈



皆で躍れば元気、平気!



グループ別 クイズに挑戦



三浦市歌斉唱

ほっと な 話

私事ですが、開所当時より地域センター内で介助ボランティアを続けております。昨秋のことですが、社協より連絡があり、私よりずっと若い女性がボランティア活動を希望されているので、会ってほしいとのことでした。一緒にセンターで活動を始め、その方は今も活動をされています。先日お会いした折、「センターに通所されている方々から、様々な人生経験を伺う事が出来て、こんなに嬉しいことはありません。有難うございました」と言われました。紹介できて本当によかったと思いました。(佐藤和子)



平成25年1月11日(金) 平成24年度社会福祉功労者表彰式典並びに
三浦市社会福祉協議会新年祝賀会

於：マホロバ・マインズ

三浦市ボランティア協会会長 **高梨 テイ**



ボラ協会会長 表彰及び挨拶

先にお伝えいたしましたように、昨年9月、長年のボラ協の活動が評価され、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰の栄誉を賜りました。そして、1月11日の社会福祉協議会「新年親睦会」の席上、ご出席の多くのボラ協の会員とともに、受賞の報告をさせていただきました。これも、ひとえに、会員皆さまの日頃の活動が評価されたものと、大変うれしく思っております。また、改めて、お力添えを頂いている関係機関の皆さまに、感謝しております。これからも私たちのささやかな活動が、地域に温かい心の輪を繋ぎ、笑顔と安らぎと活力を創生していくことができたら幸いです。

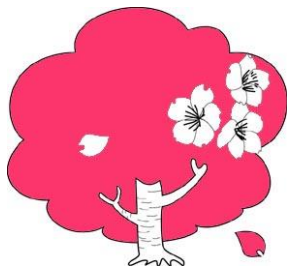
また、平成25年1月26日には三浦市ボランティア連絡協議会恒例の「新年親睦会」が開催されました。その席において、三浦市社会福祉協議会より、平成24年度社会福祉功労者特別表彰を賜りましたことをご報告いたします。



ご来賓の方々



三浦市市長挨拶



みうら市民まつり
No.2

市民協働室 石川博英

H.24.11.18(日)

平成24年11月18日(日)「みうら市民まつり」を無事開催することができました。前日は大雨に見舞われ、開催も危ぶまれましたが、当日は最高の秋晴れに恵まれ、約18,000人の笑顔が集いました。毎年5月に実行委員会が始動し、参加企画の募集を6月から始めます。約半年の準備の間、実行委員会と事務局と参加者の皆さん一人ひとりの連携・協働によって開催することができるのです。昨年からは企業団体の皆さまからの協賛もいただき運営を行っています。文字通り「市民がつくる市民のまつり」として育っている事業だと思っています。

今年は、関係者の皆さまのご協力により、フードコートの配置を変更し、振いの導線を初声市民センター会場へも繋げることができました。例年通り、ステージイベント、各種活動報告、体験コーナーなど、参加する側、来場する側の市民の交流が幅広くなされています。

「みうら市民まつり」の今年のテーマは「手をつなごう我がまちで」です。市内の在住のイラストレーター山中さんが描いてくれた「子供から高齢者の方まで皆が手をつなぎ、支え合う地域や仲間達」のイメージが温かさを創ってくれました。まつり当日は5時間の短い開催時間です。しかし、企画や構想、準備や片付け、余韻に浸ったり、仲間と会えば反省点や思い出話になっていたりと、そう、気が付くと1年365日「みうら市民まつり」は皆さんの胸の中で沸々としているのです。そのような事業に関われて大変感謝しています。

お知らせ

三浦市ボランティア協会

総会

H. 25年5月16日(木)

詳しいことは追って
お知らせします

編集後記

平成17年(2005)4月、ボラ協広報部会が、高橋(一)部会長以下5名で新規スタート、7月末に第50号を発行。平成24年3月末、第73号を発行に至り(4期8年)、当時からの部員はボラ協の歴史(昨年20周年を迎えた、所謂成人、大人の仲間入り)の生き字引の佐藤和子(こだま会)さん、当時からボラ協広報誌の写真をどういふわけか担当させられている柳田(三浦市精ボ連)、歌手の武田鉄矢ばりで、「思えば遠くへ来たもんだ」です。当時の5人衆の内、高橋(一)・水野ご両人は現在も広報部会の補助担当として活動をお願いしている。当時からの皆さん、長い間お世話様、ご苦勞様でした。この記事を書いている当人もここで人気作家宜しく、筆を折りたいと思う。(柳田一郎)